

白川町教育委員会会議録

令和7年6月18日実施

白川町教育委員会会議録

令和7年6月18日午前9時50分、白川町教育委員会を白川町町民会館で開催した。その次第は、次のとおりである。

1. 開 議

2. 教育長諸般の報告

3. 議 事

- (1) 令和7年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について (議第18号)
- (2) 教育財産の普通財産への移管について (議第19号)

4. 協議事項

- (1) 教育委員会活動状況点検評価について (資料 別冊)

5. 報告事項

- (1) 令和6年度美濃白川楽集館の運営状況について (資料No. 1)
- (2) 加茂郡体育大会の結果について (資料No. 2)
- (3) 白川町少年の主張発表会について (資料No. 3)
- (4) 第27回パイプオルガン入門講座について (資料No. 4)
- (5) 町民芸術文化祭コンサートについて (資料 別紙)
- (6) 白川・イタリアオルガン音楽アカデミー第40回記念式典・コンサートについて (資料 別紙)
- (7) 教育委員会関係工事等の発注状況について (資料No. 5)
- (8) 教育委員会後援名義使用状況について (資料No. 6)

6. その他

7. 連絡事項

- (1) 次回教育委員会 7月10日(木) 午後1時30分
町民会館 第1会議室

※午前中に教育委員会訪問(黒川中学校)を行います。

- (2) 教育委員会視察研修 7月27日(日)～28日(月) 1泊2日
富山県南砺市 南砺市立南砺つばき学舎・利賀学舎ほか

8. 出席者

教 育 長 鈴 村 雅 史
教育長職務代理者 高 木 守
教 育 委 員 塩 月 祥 子
教 育 委 員 岩 永 梢
教 育 委 員 渡 辺 靖 代

9. 事務局

教 育 課 長	鈴 村 幸 祐	教 育 主 幹	渡 邊 慶 彦
学校再編特命監	玉 置 雅 野	給食センター事務長	各 務 建 雄
学校教育係長	高 木 大 輔	子育て支援係長	鷺 見 る み
生涯学習係長	山 下 直 紀	生涯学習指導監	富 多 利 彦

10. 本日の会議の書記

学校教育係主査 嶋 倉 あ や

11. 本日の会議の経過

(1) 開 議

教 育 長 会議を開く旨を述べ開会した。 (午前9時50分)

(2) 書記の指名

教 育 長 白川町教育委員会会議規則第17条の規定により本日の書記に嶋倉あやを指名した。

(3) 教育長諸般の報告

教 育 長 前回の教育委員会以降の動向等について報告した。

(4) 議 事

①令和7年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について (議第18号)

教 育 長 本件を議題にする旨を述べ、事務局に説明を求めた。

学校教育係長 令和7年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について説明した。

教 育 長 質疑を許した。

高 木 委 員 昨年度も今年度も該当になっている方で、昨年度と今年度の認定区分が違う人がいるが、その違いは何か。

学校教育係長 世帯の前年度の所得額の変更による違いである。

教 育 長 その他に質疑を許しなかったので、異議はないか諮った。
(全員異議なく原案のとおり決定した。)

②教育財産の普通財産への移管について (議第19号)

教 育 長 本件を議題にする旨を述べ、事務局に説明を求めた。
子育て支援係長 教育財産の普通財産への移管について説明した。
教 育 長 質疑を許した。
教 育 長 遊具のある園庭も含めた移管か。
子育て支援係長 園庭は社会体育施設として生涯学習係で管理することとなる。
教 育 長 他に質疑を許しなかったので、異議はないか諮った。
(全員異議なく原案のとおり決定した。)

(5)協議事項

①教育委員会活動状況点検評価について (資料 別冊)

教 育 長 令和6年度教育委員会の活動状況点検評価について説明を求めた。
教 育 主 幹 基本方針の柱1 主要施策1 妊娠期から中学校卒業まで途切れの
ない支援について説明した。
子育て支援係長 補足説明した。
教 育 主 幹 基本方針の柱1 主要施策2 インクルーシブ教育の充実(活動を
含む)及び主要施策3 食育の充実について説明した。
生涯学習係長 基本方針の柱1 主要施策4 健康教育・スポーツ振興の推進につ
いて説明した。
教 育 主 幹 補足説明した。
教 育 主 幹 基本方針の柱2 主要施策1 読書活動の充実について説明した。
学校教育係長 基本方針の柱2 主要施策2 特色ある教育活動の推進について説
明した。
教 育 主 幹 補足説明した。
教 育 主 幹 基本方針の柱2 主要施策3 安心・安全な環境づくりについて説
明した。
生涯学習係長 基本方針の柱3 主要施策1 家庭・地域の教育力の向上について
説明した。
教 育 主 幹 基本方針の柱3 主要施策2 ふるさとを愛する心の育成について
及び白川町教育夢プランの変更点について説明した。
学校再編特命監 学校再編にかかる活動状況について説明した。
教 育 長 質疑を許した。
岩 永 委 員 朝食の摂取率が低い。また、中学生は寝る時間が遅いと聞く。家庭

と学校と連携して今後も食育の充実を行っていただきたい。

教育主幹 小学校では生活習慣チェックを行っているが、中学生となると難しい時期となってくる。啓発を続けていきたい。

渡辺委員 中学校の土日の部活動を地域移行するということでスポーツリンクで行っているが、今年の白川中学校1年生の加入率は50%である。運動離れが進んでいることを実感する。今後は体力低下も数値として出てくると思う。運動をするからお腹も空きよく食べてよく眠るが、運動をしないと体力も余って夜は眠れないからゲーム等をして起きていて朝起きられず朝食を摂らないという悪循環に陥っているのではないかと思う。今後は平日の部活動も地域に移行するという流れになってきているので、体力低下を防ぐためにも何か策を考えていく必要があると思う。

生涯学習係長 部活動の所属は任意となっていており、個人の活動の中でスポーツに触れる機会があればいいが、そうではない生徒もいるため、今後はスポーツリンクと協力して少しでもスポーツに触れる機会を作ってきたい。

塩月委員 子育て支援センターの年間利用者数が延べ3,600人となっているが、同じ人が利用しているのか、また、地区別の利用者人数などがわかると良い。

また、0歳から15歳までの一貫教育をおこなっているとあるが、例えば保育園から小学校にあがる時にどういった連携をとっているか具体的に明記されていると良い。

子育て支援係長 佐見地区の利用者は少ない。同じ人が利用していることが多いが、利用者は町内全体から来ている。

教育主幹 保小中の連携については、教員側で色々な会議が行われている。子供の状況を確認し、次の機関に申し送りしている。

高木委員 取組達成状況の視点は学校の評価が中心の中、教育委員会としてよくまとめられていると感心した。インクルーシブ教育の説明にずれがあるように思う。学校支援員の配置は手厚く感じる。

特色ある教育活動について、「存在感あふれる白川の子ども」とあるが、具体的な姿はどんな姿だろうか考える。低学年はふるさと体験でも良いと思うが、高学年になってきたときに、日本や世界に飛び立つ、ふるさとを離れてでも自分の得意とする事を突き詰めたいという、ふるさとという枠を超えた、その事ができるということがその子の存在感があふれた子となるのではないかと思う。どこかでふるさと

教育の比重を変えていく必要がある。

教 育 主 幹 インクルーシブ教育の説明は、以前のユニバーサルデザインのものであるので訂正する。

支援員の多さは助かっているが、教員が地域に任せてしまって主体性がなくなることを懸念している。

ふるさと教育については、低学年が地域を知る事は大事である。中学校でも必要だと感じているので、質の違ったカリキュラムが作れるよう、教務主任会で提案していきたい。

塩 月 委 員 特色ある教育活動推進について、校長先生同士がお互いにどんな提案をしているか知らないと言った。教員同士が交流してはどうか。お互いを知った上でも特色は出せると思う。

教 育 長 審査会のやり方も考えていかないといけない。12月までに取り組みたい。

学校再編にかかる活動状況について質疑を許した。

塩 月 委 員 探求が先に来すぎると、子どもの可能性を狭めるのではないかと危惧する。ふるさと教育にもつながると思うが、色んな体験をさせることが大切だと思う。

学校再編特命監 先ほどご説明したように、小学校の低学年は、地域に存在する自然や産業、文化等について、どんどん体験させ、スコープを拡大していくことが大切で、塩月委員がおっしゃるとおり、子どもたちは、まず体験を通して地域の魅力や良さを学ぶことになる。高学年になると、そういった体験をベースに、視野を町外や、国内、世界に広げて対比しながら、地域に横たわる課題を発見し、学びの目をつかむ。そして、中学校段階では、課題解決のため、自分の問題意識で学ぶ対象や方向を選択し、調査し、探究し、議論し、整理し、発表し、展望するといった、子どもたちの発達段階に応じた学びのつながりである、シーケンスを構築していくことが重要である。したがって、体験がベースになって、学びが深まっていき、探究につながっていくことをご理解いただきたい。

教 育 長 他に質疑を許しなかったもので、次へ移る旨を述べた。

(6) 報告事項

① 令和6年度美濃白川楽集館の運営状況について (資料No. 1)

生涯学習係長 令和6年度美濃白川楽集館の運営状況について説明した。

② 加茂郡体育大会の結果について (資料No. 2)

生涯学習係長 加茂郡体育大会の結果について説明した。

③ 白川町少年の主張発表会について (資料No. 3)

生涯学習係長 白川町少年の主張発表会について説明した。

④ 第27回パイプオルガン入門講座について (資料No. 4)

生涯学習係長 第27回パイプオルガン入門講座について説明した。

⑤ 町民芸術文化祭コンサートについて (資料 別紙)

生涯学習係長 町民芸術文化祭コンサートについて説明した。

⑥ 白川・イタリアオルガン音楽アカデミー第40回記念式典・コンサートについて (資料 別紙)

生涯学習係長 白川・イタリアオルガン音楽アカデミー第40回記念式典・コンサートについて説明した。

⑦ 教育委員会関係工事等の発注状況について (資料No. 5)

子育て支援係長 学校教育係長 生涯学習係長
教育委員会関係工事等の発注状況について説明した。

⑧ 教育委員会後援名義使用状況について (資料No. 6)

生涯学習係長 教育委員会後援名義使用状況について説明した。

教 育 長 質疑を許しなかったため、次に移る旨を述べた。

(7) その他

教 育 長 その他について発言を許した。

教 育 主 幹 小中学校の様子について説明した。

教 育 長 質疑を許しなかったため、次に移る旨を述べた。

(8) 連絡事項

教 育 長 連絡事項について説明を求めた。

教 育 課 長 次回教育委員会と教育委員会視察研修について説明した。

教 育 長 質疑を許しなかったため、予定した案件をすべて終了した旨を述べ、会議を閉じる旨を宣した。

(午後0時10分閉会)

上記のとおり会議の次第を記載して、その相違ないことを証明するため、ここに署名する。

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員